

# “自治体新電力×コミュニティの力”で新たな脱炭素住宅都市モデルの実現へ

令和5年10月 生駒市 地域活力創生部 SDGs推進課



## ■生駒市の概要

奈良県北西部に位置する人口約12万人、面積約53km<sup>2</sup>自然豊かな大都市近郊の住宅都市で主要都市からのアクセスが良く、典型的なベッドタウンとして発展。

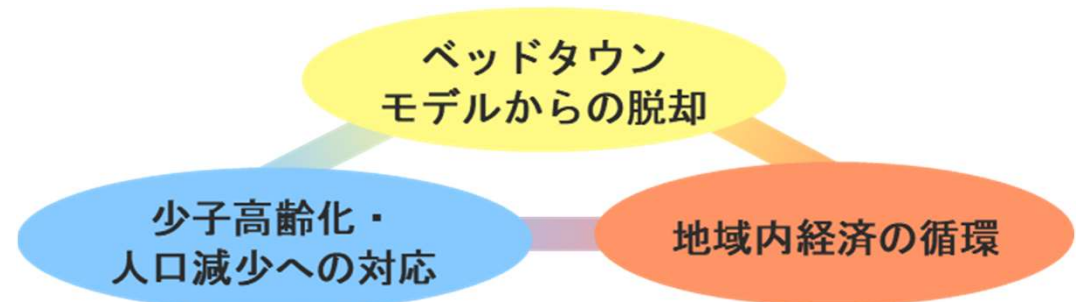
## ■生駒市の沿革

2014年3月 環境モデル都市に選定  
2017年7月 自治体新電力「いこま市民パワー(株)」を設立  
2019年7月 SDGs未来都市に選定  
2019年11月 ゼロカーボンシティ宣言  
2020年4月 複合型コミュニティ事業を開始



## ■生駒市の課題

少子高齢化・人口減少、域内消費・雇用創出の弱さなど、全国の住宅都市に共通する課題解決に向け、新たな「脱ベッドタウンモデル」の確立が必要



R5.4月 生駒市が全国初の既存住宅地の公募モデルとして環境省の「脱炭素先行地域」に選定

まちづくりの相乗効果で地域の脱炭素化と活性化を目指す

【いこま市民パワー】



【複合型コミュニティづくり】

【対象地域】 住生活エリア:ひかりが丘自治会、萩の台住宅地自治会(約1,300世帯)、公共・民間施設:232施設

# 脱炭素先行地域プロジェクトの取組概要

- 複合型コミュニティの活性化による省エネと、拠点からの情報発信を通じたいこま市民パワーからの再エネ電力受給や家庭への太陽光パネル導入など、脱炭素ライフスタイルへの変容促進
- 事業推進の基礎となる再生可能エネルギーをいこま市民パワーの電源として最大限確保

## (1)再エネ設備の最大限の導入

○いこま市民パワー等が設立する事業会社（SPC）がPPA事業を展開

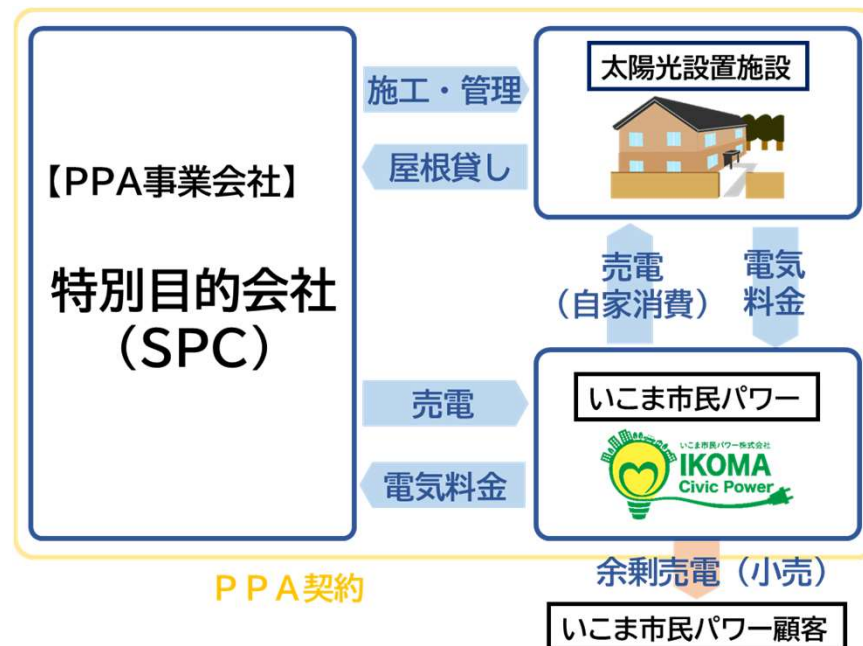
⇒SPC×いこま市民パワー×需要家の三者間モデル

- いこま市民パワーの電源として余剰電力も活用
- 余剰電力の活用を前提とすることで設置可能面積に最大限太陽光パネルを設置
- いこま市民パワーが全量固定価格で買い取ることでSPCの収益・予見性が向上

○「ペロブスカイト太陽電池」の実装検討

○系統側大型蓄電池の設置

○木質バイオマス発電所からいこま市民パワーの電力調達（2025年運転開始）



## (2)省エネによる電力需要の削減

○複合型コミュニティづくり等で“楽しく”省エネ促進

○蓄電池、HEMS等の省エネシステムのさらなる普及促進

○住宅の省エネ断熱改修



## (3)電力以外の温室効果ガス削減の取組

○車両のEV化・急速充電器の設置拡大

○EVカーシェアリング事業を展開（NAISTと連携）

○食品ロス削減に向けたフードドライブの取組拠点を拡大。市域内での活用を促進

# 自治体新電力「いこま市民パワー」を中核とするまちづくり

## ■平成29年7月 いこま市民パワー(株)設立

～まちの魅力向上・課題解決に、エネルギーを切り口に取り組む～

### 経済面

電気料金の地域内循環による経済波及効果  
事業展開に伴う雇用創出効果

### 社会面

市民の皆さんと一緒に考え、創っていく  
「市民による市民のための電力会社」

### 環境面

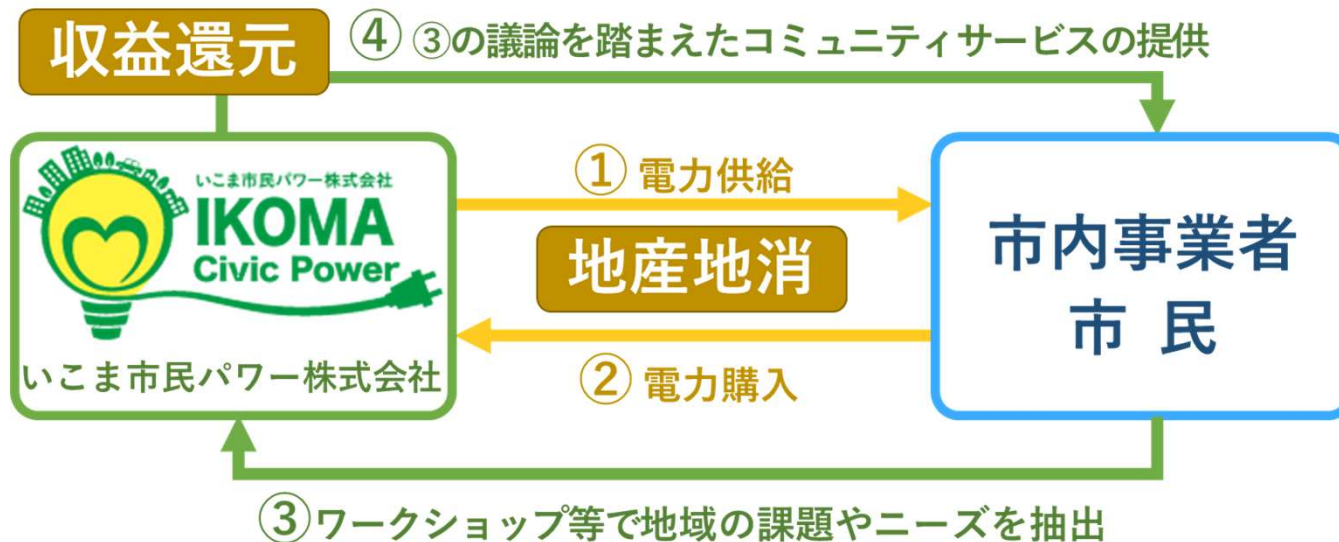
新たな再生可能エネルギー電源の獲得、  
エネルギーの地産地消を推進

⇒経済・社会・環境をより良くするまちづくりを目指す



令和4年4月 生駒市長に代わって  
生駒商工会議所会頭が代表取締役就任

## ■いこま市民パワーの事業スキーム



○電力事業を通じて再エネ促進  
と市域内資金循環による地域経  
済の活性化を実現

○収益は地域課題・ニーズを踏  
まえて地域に還元

再エネの地産地消で脱炭素化する  
“しくみ”を発展させ、  
脱炭素モデル地区を確立・波及

# 複合型コミュニティづくり

■複合型コミュニティづくりを促進  
歩いて行ける自治会集会所等の施設を、世代を超えて楽しく集い、暮らしを支える場として、自治会・住民が主体となって運営するコミュニティづくりを支援



キッチンカーの呼び込み



連携企業による家事講座



緑道Cafe

<p>#捨てる</p> <p>あなたにとってのごみは 誰かにとっての宝物になる かもしれない</p> <p>ごみを捨てるだけでなく、資源として回収し、再利用することで、環境にやさしく、資源を大切にします。また、ごみを捨てるだけでなく、資源として回収し、再利用することで、環境にやさしく、資源を大切にします。</p>	<p>#飲む・食べる</p> <p>形態は様々 飲食店のかたち</p> <p>飲食店のかたちは様々です。形態は様々で、飲食店のかたちは様々です。形態は様々で、飲食店のかたちは様々です。</p>	<p>#売る・買う</p> <p>となりの畑で採れた野菜も 手づくりの編み物も 持ち寄れば立派な マーケット</p> <p>地域の農産物や手作り品、手づくりの編み物も持ち寄れば立派なマーケットです。地域の農産物や手作り品、手づくりの編み物も持ち寄れば立派なマーケットです。</p>
<p>#耕す</p> <p>地域で 「農」を営む</p> <p>地域で「農」を営むことは、地域の活性化につながります。地域で「農」を営むことは、地域の活性化につながります。</p>	<p>#読む</p> <p>地域の人の 図書館</p> <p>地域の人の図書館は、地域の活性化につながります。地域の人の図書館は、地域の活性化につながります。</p>	<p>#運動する</p> <p>みんなで元気な 身体づくり</p> <p>みんなで元気な身体づくりは、地域の活性化につながります。みんなで元気な身体づくりは、地域の活性化につながります。</p>
<p>#測る</p> <p>健康への第一歩 まちかどの保健室</p> <p>健康への第一歩は、まちかどの保健室です。健康への第一歩は、まちかどの保健室です。</p>	<p>#学ぶ</p> <p>ご近所先生 から学ぶ</p> <p>ご近所先生から学ぶことは、地域の活性化につながります。ご近所先生から学ぶことは、地域の活性化につながります。</p>	<p>#遊ぶ</p> <p>誰もが自由に 参加できる遊び場</p> <p>誰もが自由に参加できる遊び場は、地域の活性化につながります。誰もが自由に参加できる遊び場は、地域の活性化につながります。</p>
<p>#働く</p> <p>地域の人の シェアオフィス</p> <p>地域の人のシェアオフィスは、地域の活性化につながります。地域の人のシェアオフィスは、地域の活性化につながります。</p>	<p>#奏でる</p> <p>暮らしの中の 音楽祭</p> <p>暮らしの中の音楽祭は、地域の活性化につながります。暮らしの中の音楽祭は、地域の活性化につながります。</p>	<p>あなたのうちのすぐ近くで、 「あったらいいな」を叶える場所。</p> <p>近所の子どもや学生さん、子育て中の人やお年寄りまで。みんなの「あったらいいな」が集まるその場所は、まるで多くの人が行き交う「駅」のよう。まちなかに行き先が増える と変わる、日々の暮らし。ここでは、一人ひとりが暮らしを楽しむ主人公。 そんな「まちのえき」を地域でひらき、楽しむ暮らしをみんなでつくっていきましょう。</p>

○多様化する「地域課題」「住民ニーズ」に対応し、豊かに、楽しく安心した暮らしを形成するには、市民や事業者・地域団体、行政が連携して、**コミュニティを充実**させることが重要

○世代を超えて集まる交流拠点が身近にあることで、遠方まで車で出かける必要がなくなり、**クールスポット（ホットスポット）**としても機能

市民が集まる“場づくり”が地域の脱炭素化に貢献

# 既存住宅の脱炭素化と魅力あるまちづくり施策の展開

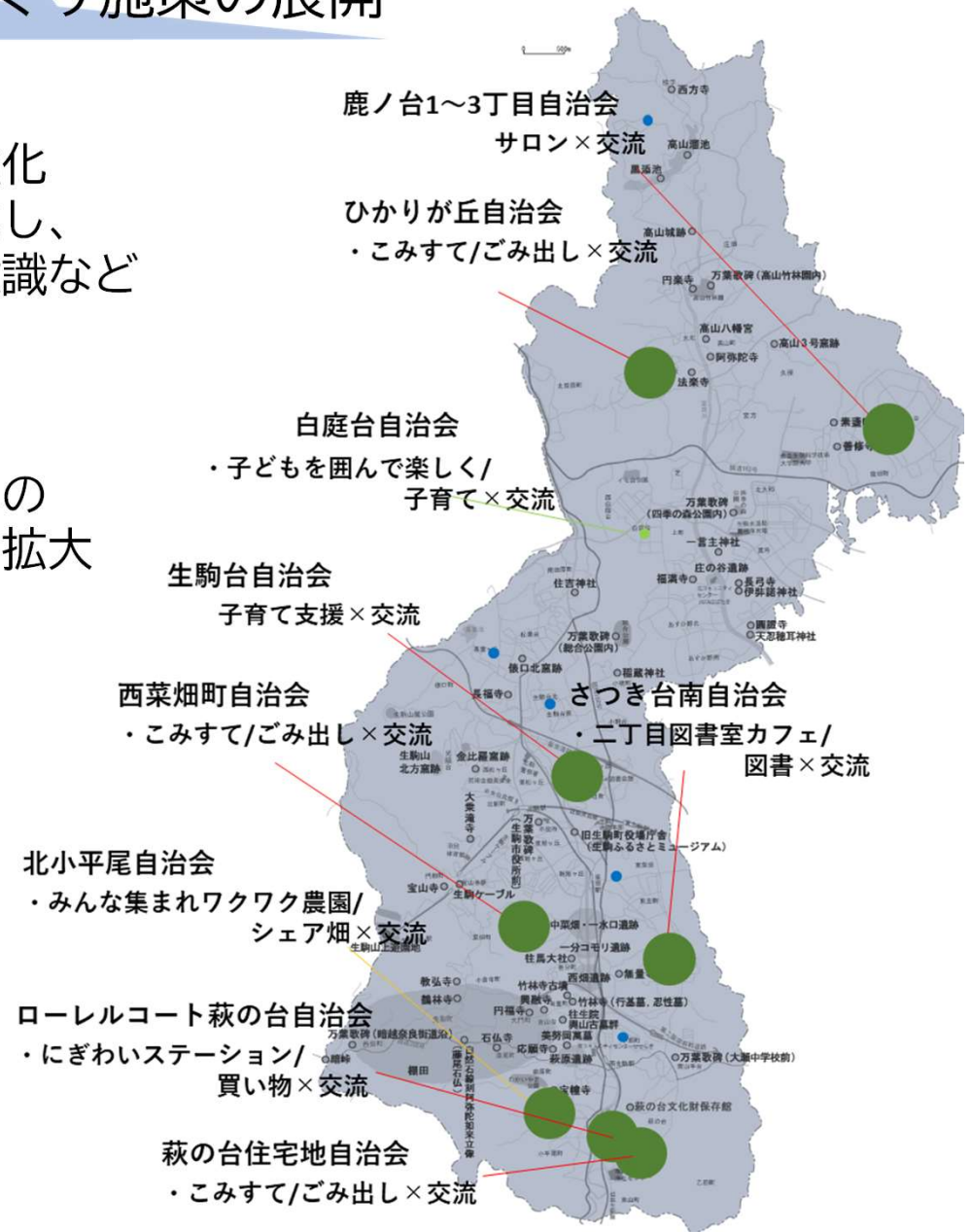
■複合型コミュニティを通じた情報共有・発信を強化  
 ⇒先行2自治会を対象とする脱炭素化事業を強化し、  
 家庭への太陽光発電・蓄電池の導入、省エネ意識など  
 脱炭素ライフスタイルの効果的な普及を促進

■複合型コミュニティの拡大とともに、自治会等への  
 公募プロセスを繰り返すことで、脱炭素エリアを拡大

※複合型コミュニティは、令和5年度までで  
 9地区に拡大

⇒取組地区ごとに多種多様なモデルで実施

こみすてモデル	→	ごみ出し×交流
図書室モデル	→	図書×交流
地域農園モデル	→	畑×交流
サロンモデル	→	サロン×交流
子育て支援モデル	→	子育て×交流



住宅都市の新しい脱ベッドタウンモデルを創出・波及し、脱炭素化に貢献